

みなみたね 議会だより

第2回定例会及び第2回臨時会

【議会運営委員会による閉会中の所管事務調査風景】
(曾於市議会)

令和6年第2回定例会が6月6日～14日まで開催されました。
令和6年第2回臨時会が5月1日に開かれました。

第186号 発行 令和6年7月31日

発行責任者：南種子町議会議長 塩釜 俊明
編集：議会広報編集委員会
住所：南種子町中之上2793-1 電話26-1111

【産業厚生委員会による閉会中の所管事務調査風景】
(東串良町有機堆肥センター)

- 主な内容
- 一般質問(5名)……………2P～6P
 - 論点……………7P
 - (第2回定例会及び臨時会の議案及び補正予算審議から)
人事・議会の動向・編集後記等……………8P
 - (人事・議会の動向・ホームページ閲覧・編集後記他)

一般質問



濱田 一徳 議員

農林水産設備の利用状況

濱田 1分間にマイナス20度まで急速冷凍できる急速凍結機の利用状況は。

町長 令和5年3月再編交付金で購入し、トンミー市場に設置している。タケノコや鮮魚等の調査、試験に取り組んでいる。今後、特産品開発センターに設置を検討している。

総合農政課長 町内の飲食店から1件の申請があった。取り扱った品目はタケノコ、寿司、鮮魚です。

電気代は1時間フル活用で220円程度で、現時点は実証試験期間として使用料を免除している。事前に利用希望の申請を総合農政課に出し許可書をもって使用していただくことになっている。

濱田 基腐病対策として購入した、からいもの蒸熱処理機の利用状況は。

総合農政課長 令和4年度が利用者13人で、処理量5,440キロ、令和5年度が

16人で7,440キロであった。

濱田 利用促進について広報の在り方をどう考えるか。

町長 多くの住民に利用してもらおうように、今後しっかりとPRし使い勝手の良い環境も整えたい。

蒸熱処理機については、なり首と尾を切る作業の手間等、引き続き基腐病の研修会などを通じ、周知を図っていく必要がある。

青年団活動の積極的な支援

濱田 社会教育課の重点に成人教育の充実で青年団体の育成及び組織の強化を掲げているが具体的な取り組みは。

教育長 将来の南種子町は、若い世代の活躍によって支えられ、青年団活動の充実は地域の様々な担い手不足の解消だけでなく、活力ある地域づくりや少子化に歯止めをかける効果も期待されている。

社会教育課長 現在の南種子町連合青年団は男性25名、女性7名の計32名である。

社会教育課では、南種子町の未来を背負う青年団を支援するため、団員募集のチラシ作成等協力を行うことで町内各企業に勤める若者への参加呼びかけ等、幅広い団員勧誘の支援を行っている。また各種イベントへの参加を呼びかけることで異性、異年齢、異職種間の交流、出合いの場や学びの場となるのではと期待している。

青年団の研修として昨年は熊毛地区社会教育指導者研修会を自然の家で実施した。

濱田 青年団への補助金増額についてどのように思うか。

町長 南種子町の活性化を目指す取り組みを行う団体については、事業内容を精査し、積極的に支援を行うという考えを持っている。商工会や農業者の若者の交流の場もできているので青年団が活動する場を盛り上げ、積極的な

支援を図りたいと思っている。

教育長 生きがいに満ちた活動をするということは、自主・自発的な活動が良いと思っている。青年団の方々が人に貢献してよかった。と思えるような活動を支えていくことが重要だろうと思うので、よい助言をして活動を積極化していくように考えていきたい。

自宅介護者への援助

濱田 町内で寝たきり老人の介護世帯数及び、介護タクシーの一部援助についての考えは。

くらし保健課長 介護者の援助を全面的に必要とし、重度の寝たきり高齢者の世帯数は36世帯となっている。

町長 介護タクシーの利用支援等についても、今後町として取り組むべき課題であると認識している。今後、どのような仕組みが一番良いのか調査し前向きに検討したい。

一
般
質
問

包括連携協定について



上園 和信 議員

上園 地域活性化に関する包括連携協定調印式が4月2日、研修センター2階大会議室で行われたとの町広報紙5月号の記事。包括連携協定とは、と、締結した協定内容について、詳しい説明を求め

町長 包括連携協定とは、地域が抱える課題に対して自治体と民間企業が協力するための契約で、地域課題は、福祉、環境、農業、防災からまちづくりまで多岐にわたる。地域社会の持続的な発展と改善に向けた活動を推進し、公共サービスや地域開発と民間企業のビジネス活動を結びつけ、地域全体の価値向上を図るということを目的としている。

令和6年4月2日に、地域活性化に関する包括連携協定を本町と株式会社共立ソリューシヨンス並びに株式会社ファイナルコーポレーションの三者において調印式を開催し、包括連携協定を締結した。

協定の内容は、自治体向け

民間活用を伴う委託業務、宿泊施設、居住施設の誘致、再生可能エネルギーの推進、ふるさと納税、PFI事業の推進に関する企画及び立案に関する内容となっている。

上園 南種子町が抱える課題、職員と町長とが一体となつて、住民の声も聴いて、議会にも相談し解決する。本来の行政の在り方だと考える。その重要課題の解決、町外の事業者委ねる、その理由と目的は。

町長 この包括連携協定については、本町が抱える最重要課題の解決、これを全部丸投げしているということではない。県外の民間事業者に連携協定を委ねる理由目的は、県外の民間事業者が持つ専門知識や技術を活用するという点で、地元の問題に対する新しい視点やソリューション、課題解決、問題解決を得ることができるといふこと、そして特に特定の分野で優れた実績を事業者と連携することで、

プロジェクトの質を向上させることができる、ということから、その分野の提案をいただけるということである。

上園 PFIの正式名称とその事業内容は。

企画課長 PFIの正式名称は、プライベート・ファイナンス・イニシアティブで、事業内容は、民間資金を活用して公共インフラや公共サービスの提供を行う仕組み。

基本的概念は、公共部門と民間部門が協力して公共サービスやインフラを提供する公

私連携の一形態であり、主に民間資金とノウハウを活用することで、公共事業の効率化や質の向上を目指すといふものの。

上園 町長は包括連携協定を地域経済の活性化や町民サービスの向上につなぐべし、との談話を述べている。町民サービスの向上につなぐべし。答弁を求め。

町長 地域経済の活性化

や町民サービスの向上につながるよう、職員と一緒に頑張っていく。

広聴活動の推進について

上園 町政における広聴は、町政への提案や要望、苦情、相談など町民からの様々な意見や情報に耳を傾ける。それを行政推進に反映させていく、町民との対話、話し合い、町長の大きな業務といえる。町政座談会(仮称)を実施する考えはないか。

町長 令和3年度に開催した町政座談会は、参加人数が町内全体で236人、町民の約4.3割の参加となっている。いろいろなご意見があり、JAや各種団体の批判、町政にまったく関係ないご意見など、町政座談会の目的である意見交換や相互理解を妨げるような発言も見受けられた。今述べたことも踏まえ、町政座談会の実施については、しっかりと検討し形をだしていきたいと思っている。

一般質問



福島 照男 議員

燃料費の本土並み価格実現への取り組み

福島 鹿児島に行く度に、種子島のガソリン価格は高いなあと痛感します。そこで、全国のカソリン価格と国からの補助金制度について調べて見ました。価格は全国バラバラで、大都市周辺は比較的安く、地方は高い傾向にあります。

国は離島のガソリン価格を抑えるために、ガソリン流通コスト対策事業を実施しています。その内容は、輸送形態と本土からの距離に応じて補助単価を設定し、離島におけるガソリンの追加的な輸送コスト相当分を補助するとなっています。種子島・屋久島は10円の補助単価となっています。

本土並み価格の実現は、種子島島民ならず、全国離島民の悲願でもあります。本土との価格差、そして本土並み価格の実現に向けた取り組みについて、町長の捉え方、考え方は。

町長 この燃料費の本土並み価格実現への取り組みについては、離島地域の住民や事業者の生活コストを軽減し、地域経済の持続可能な発展を支えるために大変重要で

あります。令和6年4月の鹿児島県内レギュラーガソリン1リットルの販売価格は、本土平均が180円、離島平均が196円となっています。離島のうち大島地区は193円で、熊毛地区は201円となっております。自治体を始め地域の代表者や経済団体等が一体となり、政府に対して具体的な政策提言を行い、燃料費削減に向けた支援を求めるとともに、特に離島振興策の一環として燃料費補助を強化するよう、継続して要望していく必要があると考えています。

リサイクル電化製品の本土までの海上輸送費助成

福島 先日実家の片づけで、古い冷蔵庫と洗濯機5台を町内の業者にリサイクル処理を依頼した時、明細書を見て本体のリサイクル料金よりも海上輸送費の方が高かったのがビックリでした。

これから増々高齢化世帯が増えていき、空き家対策の問題も出てきます。この家電リサイクルの海上輸送費助成があれば大変助かりますが、良

い知恵はないか。

町長 海上輸送の補助事業としましては、一般財団法人家電製品協会が公募をして行う運搬費の一部助成事業があります。この事業を行うには、毎年離島対策事業計画を策定して申請する必要があります。条件としては、町内の家電リサイクルを取り扱う事業所に毎月実績を提出していただくなど、事業者の協力が不可欠であります。ちなみに24年度はすでに全国で21の自治体に事業決定しているようです。

本町に於いても、地元業者に協力を求めてご理解がいただければ、事業に応募し、離島の抱える海上輸送料の課題解決に取り組んでいけるのではないかと考えています。

移設予定の特産品開発センターの運用計画

福島 新しい開発センターを旧南高跡地に作る予定と聞いていますが、この施設の概要は。

年内までに基本設計と実施設計を完了させる予定です。施設の内容としては、更衣室、原料運搬室、洗浄室、加工室、冷蔵冷凍保管室、出荷準備室、ポイラー室等を想定しています。

福島 町民が手軽に利用できる活用促進策が、トミー市場での販売促進に繋がります。町民の所得向上にも繋がりますが、その活用・運用計画について伺う。

総合農政課長 試作や実用化までの取り組み支援ができる環境づくりを進め、販売については、販売者自らが営業許可の取得やHACCPに沿った衛生管理計画の実施が必要となるため、その支援も併せて行つてまいります。

HACCP(ハサップ)とは・・・食品の安全性を確保するための国際的な衛生管理手法です。
危害・分析・重要・管理・点の頭文字をとってできた造語です。

総合農政課長 これから

一
般
質
問

独居高齢者サポート対策について



平島 強 議員

平島 本町では、以前は各

地区に商店があり、日常の買い物には支障がありませんでしたが、閉店となって不便を感じている高齢者が多いと思われまます。昨今、団塊の世代が、後期高齢者の時代です。朝のゴミ出しにも行けない。もちろん、買い物、病院、車を持っていない高齢者は、子供または友人に頼むと、それなりにお礼をしなければなりません。西之表だと1日かかりません。年金生活者の高齢者にとつては、大変な出費です。そこで、タクシー会社と業務提携し、チケット配布はいかがか。

町長 高齢者のゴミ出しにつきましては、これまでいろいろな質問もあつたところでありまして、まずは、町内8地区に地域支え合い協議会を設置し、それぞれの地域の実情に応じて、公民館の皆様を中心にゴミ出しの支援をしているところがございます。町の包括支援センターに、まずは

ご相談をしていただくこと、

そしてまた、地域の公民館長さんへご相談をさせていただければというふうに思っております。その中で、買い物や病院の移動手段につきましては、これまでの一般質問でも答弁をしてくれているところではありますけれども、町のコミュニティバスを無料券または100円にて運行しておりますので、まずは、これをご利用いただきたいと思います。

空き家対策について

平島 地権者と相談して

いただいて、ゲストハウスや集落寄合場としての活動はどうか。私の集落(里)では、15世帯ありまして8軒が空き家です。地区公民館とも相談しましたが、行政と相談してくださいとのこと。また、充分に住める空き家もございません。ぜひ、行政の方で検討いただけないか。

町長 空き家住宅の利活用につきましては、これはあくまでも個人の財産であるため、所有者の意思が非常に重要であると考えております。

個人の財産については、法律上、様々な種類があり、所有権・使用権・収益権 処分権・相続権などの法律上の権利によつて、管理保護されておるところであり、行政が主体となつてこれらを調査することは、非常に難しいことを、まずはご理解をいただきたいと思ひます。

ショッピングセンターの新設について

平島 南種子町には、肌

着・作業着を売っている商店はございません。中種子・西之表まで行かなければなりません。町民も非常に不便を痛感していると思ひます。商工会との兼ね合いもございませうけど、地元の商店の方々にも出店していただい

ターの新設はいかがか。

町長 このショッピングセンター等の大型店舗の新設につきましては、平成29年11月21日付けで、株式会社サムズより、南種子町内出店計画に伴うご協力要請に関する要望書というものが、本町に提出をされていることのようにありますが、その計画については、現在は白紙となつてるところであります。

しかしながら、町民や一部の商工会員からは、現在ショッピングセンター等の大型店舗の新設を望む声も聞かれるようになってきておりまして、以前と比べると大型店舗の誘致について状況が変化してきているのではないかと、そのような事実がございます。前向きな検討を進めていく必要もあるのかというふうに感じているところでもあります。

て、名店街のショッピングセン

一般質問



野首 久教 議員

ロケット輸送経路の道路整備について→緊急車両のスムーズな通行を!

野首 島間港と種子島宇宙センターまでのロケット輸送時に緊急車両が遭遇した場合の対策は取られているか。

町長 ロケット輸送時の安全対策及び緊急対策対応については、輸送計画書に基づきロケット輸送の時間帯やルートが綿密に決められており、警察や消防などの緊急サービス機関と連携しながら輸送時に緊急事態が発生した場合の対応手順として、輸送隊と警察や消防などの緊急サービス機関、役場、公立種子島病院、熊毛支庁との間において連絡体制が確保され、ロケット輸送中に緊急車両が遭遇した場合においても、安全かつ迅速に対応出来る体制が現状においても整っている。

野首 国道58号上中・島間線歩道未整備区間は、農道からの出入りも多くあり、通行量の多い国道に出る時は見通しが悪いため特に危険を伴っている。この歩道未整備区間の整備計画はどう進められているか。

町長 平成25年に島間地区公民館より要望を受け、島

間港から上中までの国道3車線化について県に要望を続けて来ていた経緯がある。今年3月に熊毛支庁建設部長より道路構造令に基づき3車線化は現状では難しいが、まず緊急車両が利用可能となる計画で、横峯の未改良区間より進めて行くとの説明を受けたところであり、引き続きロケットの輸送道路として全体的な整備計画についても実現に向けて検討を進めて頂くよう要望をして参らねばならないと思っている。

観光地に向かう道路の草刈り作業について ↓1市2町連携で同時期実施を!

野首 国道58号西之表市から南種子町までの道路整備・草刈り作業について1市2町による連携はなされているか。

町長 率直に申し上げますと、なかなか連携は図られていません。国道58号は県の管理道路であり、南種子町は県から権限移譲を受け自分たちでこの管理をやっています。現時点で、西之表市、中種子町は権

限委譲を受けていないことから熊毛支庁建設課が建設業者へ年間管理委託を行っている。1市2町で連携を図ることは現状としては非常に難しい状況だと思っているが、行政懇話会あたりで西之表市長、中種子町長にも権限移譲についてやった方が良いのではないかと言うことは話して行きたいと考えている。

野首 南種子町には数多くの観光地が存在しますが、町内各路線の草刈り作業はどのように計画されているのか。

町長 南種子町管理道路の維持管理、路肩の除草や伐採は、令和2年度よりまちづくり公社との業務協定に基づき、道路維持班が実施している。主要な幹線道路は年2回、その他町道は年1回実施している。また、地域道路の環境美化を推進するために、道路ふれあい愛護活動報奨金交付事業を実施しており、今年度は25団体、町道56路線、農道20路線で、延長64キロを年1回から3回実施する計画である。

南種子町町民歌の普及について ↓どの年代でも歌える町民歌に!

野首 南種子町町民歌は昭和37年9月に制定されていますが、南種子町町民歌はどんな位置づけになっているのか。

町長 南種子町町民歌は、南種子町の歴史や文化、自然の美しさを反映しており、町民の連帯感や誇りを育む役割を果たし、町の象徴として重要な位置づけを持っていると考えている。

野首 各小学校の児童及び中学校の生徒が集う音楽発表会で南種子町町民歌を斉唱することは可能か。

教育長 音楽発表会は、小・中学校の児童生徒が音楽の授業で習う歌をお互いに発表し合い、音楽に関する意識を高め一層の音楽教育の振興を図ることを目的としている。教育委員会としても町民歌のリズムや曲奏の良さ、歌詞の素晴らしさを踏まえて、学校と協議して出来る範囲で前向きに検討して行きたいと考えている。

論

点

第2回臨時会

事件

南種子町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴う改正。

承認

令和5年度一般会計補正予算(第12号)他3件

歳入・歳出確定に伴う最終補正を行ったもの。

質疑 寄付金が減少している。町の重要な財源であるので取り組みに対する体制づくりを力を入れて欲しいと思うが、どのように考えているのか。

答弁 ふるさと納税につきまして、コロナや基腐病等の影響を受け減少している。

この状況を改善するため、新商品の開発や企業版の納税、「あぱーPAY」を利用した取り組み等の協議を行っているところです。

報告

町の債権放棄について

放棄した債権(水道料金)については、21件、45万4,115円となります。

条例

南種子町行政手続きにおける特定の個人を識別するため番号の利用に関する法律に基づく個人番号に関する条例の一部を改正する条例制定について他1件

法律の一部改正に伴う条例の一部改正。

令和6年度一般会計補正予算(第1号)

定額減税調整給付金事業や国庫補助等の内示に伴う事業調整であり、予算総額を69億4,122万6,000円とする。

質疑 子ども通院費等助成金の対象年齢は。

答弁 対象年齢については、高校生以下の18歳を迎えた年の3月31日までの者を対象としています。

質疑 特産品開発センターの移転計画の場所は。

答弁 移転先の候補としては、旧南種子高校敷地の弓道場跡地周辺を計画しております。

質疑 農業者トレーニングセンターの整備事業費が減額されている。非常に必要な整備だと思いが、整備実施についての計画は。

答弁 今回については、スポーツ振興くじを申請していましたが、不採択となりました。今年度も引き続き申請を行う計画であります。

令和6年度南種子町介護保険特別会計補正予算(第1号)

予算総額を7億1,111万3,000円とする。

第2回定例会

報告

令和5年度南種子町繰越明許費繰越計算書について(第2号)

28件の事業について繰越額が確定したことについての報告。

質疑 荃南小学校の移転先と現在の校舎の利用方法は。

答弁 現在の小学校敷地と、旧荃南中学校跡地を合わせた形で計画をしている。

条例

南種子町子供医療費助成条例の一部を改正する条例制定(第31号)

住民課税世帯非課税世帯にかかわらず、町内すべての18歳以下の子供について、町内の医療機関等における保険給付に係る一部負担金について、医療機関等での窓口負担の無償化を行うため、所要の改正を行うもの。

質疑 この件についての予算処置はどのような計画であるのか。

答弁 予算については、子供医療助成事業での対応を計画しています。状況を把握しながら補正での対応を行ないます。

質疑 島内全域での対応は出来ないのか。

答弁 島内全域で取り組むことが理想であります。現在のところ他の自治体と取り組む方法が異なるため、今回の条例改正は町内限定とのことで、ご理解をいただきました。

第2回定例会及び臨時会に提案された議案は、すべて承認・可決しました。

人事

教育長の任命(再任)

菊永 俊郎(66歳)

南種子町中之上2344番地1
昭和33年3月22日生



菊永 俊郎氏

お詫びと訂正

5月31日発行の議会だより(第185号)の上園議員の一般質問の記事の中で、期日に誤りがありましたので、関係機関の皆様へ深くお詫び申し上げます。

(誤) 2024年2月15日
(正) 2024年2月17日

【閉会中の継続調査事項】

委員会名	調査事項
議会運営委員会	○次期議会の会期日程等議会の運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項
総務文教委員会	○自衛隊施設予定地の現地確認等について ○給食センターの現状と今後の課題について
産業厚生委員会	○農業振興策全般について ○観光政策の展開について

【議会の動向】(令和6年6月17日から令和6年8月27日まで)

8			7			6			月			
27	21	2	19			17	2	26	20	17	曜日	
火	水	金	金			水	火	水	木	月	内容	
議会運営委員会(9月定例会)	定例全員協議会	熊毛郡町議会議長会臨時総会	産業厚生委員会(所管事務調査まとめ)	総務文教委員会(所管事務調査まとめ)	広報編集委員会	定例全員協議会	第3回臨時会	議会運営委員会	総務文教委員会(所管事務調査)	産業厚生委員会(所管事務調査)	定例全員協議会	場所
議会第1委員会室	議員控室	鹿児島市	議会第2委員会室	議会第1委員会室	議会第1委員会室	議員控室	議事堂	議会第1委員会室	給食センターほか	議会第2委員会室	議員控室	種子島家畜市場 議会第1委員会室

議会だより



会議録



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると南種子町議会の議会だより(平成27年3月発行分以降)と定例会の会議録(平成27年第2回定例会分以降)の閲覧ができます。是非ご活用ください。

ホームページの閲覧について

第3回(9月)定例会の予定

- 9月5日(木) 開会・本会議(一般質問)
- 6日(金) 本会議
- 13日(金) 最終本会議

※都合により変更となる場合があります。

次回の議会だよりは、令和6年10月末発行予定です。

編集後記

2月後半から3月にかけて植え付けられたコシヒカリも、黄金色に染まり、首を垂れて収穫をされています。豊作であつてほしいものです。
ふと自宅の庭から朝日に輝く屋久島を眺めると、眼下には九州電力の煙突、ブリの中間養殖用のいけす、馬毛島基地関連の工事に伴う数隻の作業船が、島間港沖合に停泊している風景を目にします。
60年ほど前には、沖合に停泊した客船から、はしけで降り立っていた島間港は、現在では、宇宙開発の最先端を担うH3ロケット運搬のための大型貨物船や豪華客船も停泊できるような県管理港湾になりました。行政や国会議員、地方議員をはじめ、多くの方々のご尽力により成し遂げられたことは、いうまでもありません。
本町は、県下はもとより、国内でもいち早く様々な取り組みに挑戦しています。古きよきものを継承し、未来を見据えた施策こそが、行政と議会に課せられた使命であると思えます。町民の意見を聞き、建設的な議論を深め、魅力ある南種子町を構築するため、頑張つてまいります。

議会広報編集委員会
(文責) 柳田 博